

「神戸マラソン2025」で日本管財が警備業務を実施 ～大会史上最大規模のコース変更に対応した警備計画と当日運営で 2万人のランナーと観客の安全を守る～

オフィスビルや商業施設等の建物管理運営事業や住宅管理運営事業、不動産ファンドマネジメント事業等を手掛ける日本管財ホールディングス（本社：東京都中央区、代表取締役社長：福田 慎太郎、以下「当社」）は、グループ会社である日本管財株式会社が、2025年11月16日（日）に開催された「神戸マラソン2025」において、警備業務を担当し、大会の安全・円滑な運営をサポートしたことをお知らせいたします。

KOBE MARATHON 2025



神戸マラソン2025について

神戸マラソンは、「感謝と友情」をテーマに、2011年より始まった市民参加型フルマラソンです。「自分のために走ること」はもちろんですが、それ以上に「人々のために走る」マラソンをめざしています。

第13回目を迎える阪神・淡路大震災から30年の節目でもある今回は、初めての大掛かりなコース変更がありました。これまでのコースでは約38km地点の神戸大橋付近に10m以上の登り坂がありました。新コースでは、折り返し地点を明石市側に延伸し、フィニッシュ地点が神戸ハーバーランドとなることで、フラットで記録が出やすいコースになりました。また、今大会から、マラソンの年間王者を決める「マラソングランドチャンピオン（MGC）シリーズ2025-26」（日本陸上競技連盟主催）にも加盟しています。

出典：[神戸マラソン公式サイト|大会テーマ、神戸マラソン公式サイト | ごあいさつ](#)（神戸マラソン実行委員会）

参考：[明石市に延伸した神戸マラソン。神戸市内を飛び出したワケ](#)（2025年11月19日）（神戸市公式note）

日本管財の取り組み

日本管財は、警備業務を担当し、警備計画の策定や警備員の配置調整、緊急時対応訓練などを行いました。

イベント警備などを行う特別警備対策室は、「神戸マラソン事務局さまや関係機関さまと週に1度以上の打合せをさせていただき、現地実査を経て、コース変更に合わせた”安心・安全・円滑”な大会となるよう、計画書の策定や当日運用に尽力しました。」と語りました。

日本管財は今後もマラソン大会をはじめとする各種イベントにおいて、安全で円滑な運営の実現に努めてまいります。



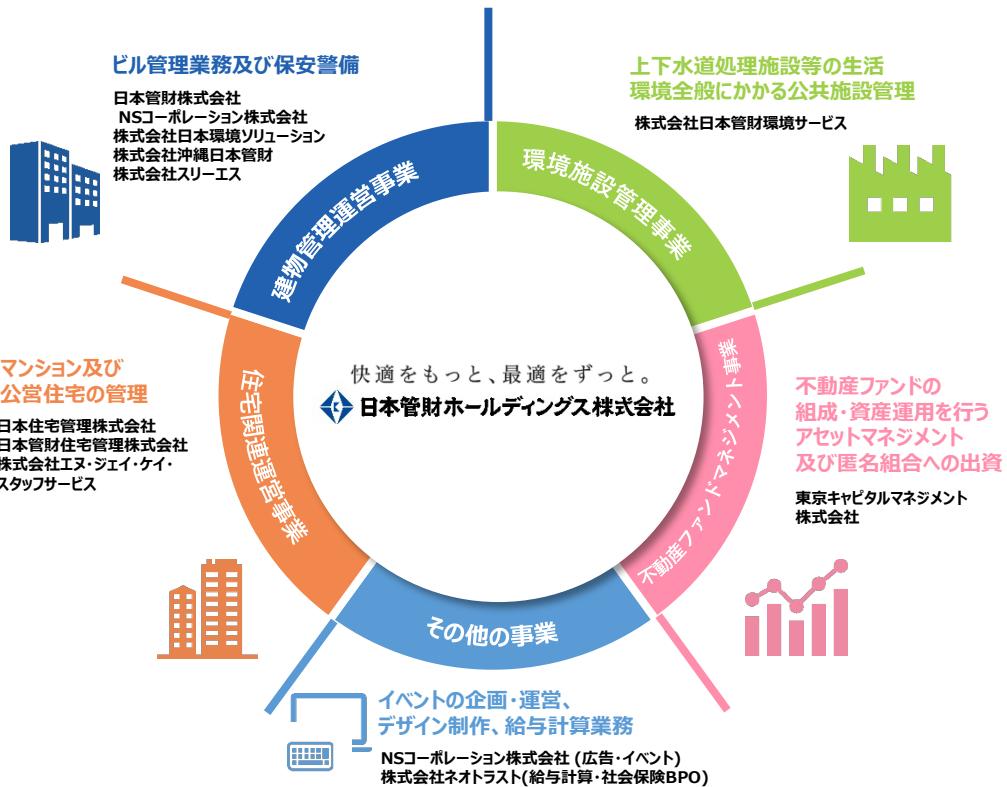
事前準備の様子

日本管財ホールディングス株式会社

日本管財グループについて

日本管財グループは1965年に設立し、現在は国内及び海外で建物管理運営事業、環境施設管理事業、住宅関連運営事業、不動産ファンドマネジメント事業等を展開しています。独立系であることを強みに、オフィスビル、商業施設、ホテル、教育機関、公共施設など、幅広い用途に携わっています。

日本管財ホールディングス株式会社は持株会社として2023年に設立し、グループ経営機能に特化しています。



会社概要

社名：日本管財ホールディングス株式会社

所在地：東京都中央区日本橋2丁目1番10号

設立：2023年4月3日

代表者：代表取締役社長 福田 慎太郎

資本金：3,000百万円

事業内容：オフィスビル、集合住宅、環境施設等の管理運営事業や不動産ファンドマネジメント事業等を営むグループ会社の経営管理及びこれに附帯又は関連する業務

URL：<https://www.nkanzaihd.co.jp/>